

コアジサシ チドリ目カモメ科

*Sterna albifrons* Pallas, 1764

鳥取県：絶滅危惧Ⅰ類 (CR+EN)

環境省：絶滅危惧Ⅱ類 (VU)



淀江港 2009.4.29/撮影：千村隆司

■選定理由：営巣に適した場所への人間（釣り人，四駆車など）の立ち入りで，近年繁殖数が激減し，個体数が減っている。

■特徴：全長25 cm程度。雌雄同色。夏鳥として県内で繁殖する。群れで行動することが多く，海岸や河川の砂浜，中州，河原に集団で営巣する。

■分布 県内：以前は千代川河口，天神川河口，日野川下流域で繁殖が確認されていた。近年は飛来はあるものの，繁殖は確認されていない。県外：日本では本州以南で繁殖。ヨーロッパ，アフリカ，アジア，オセアニア，北アメリカ中部から南アメリカ北部で繁殖。冬季は熱帯域で過ごす。

■保護上の留意点：繁殖適地の保護および繁殖期における立入制限等の対応が必要である。

■特記事項：鳥取県特定希少野生動植物。

■文献：—

執筆者：吉田良平